

●最近の県内経済

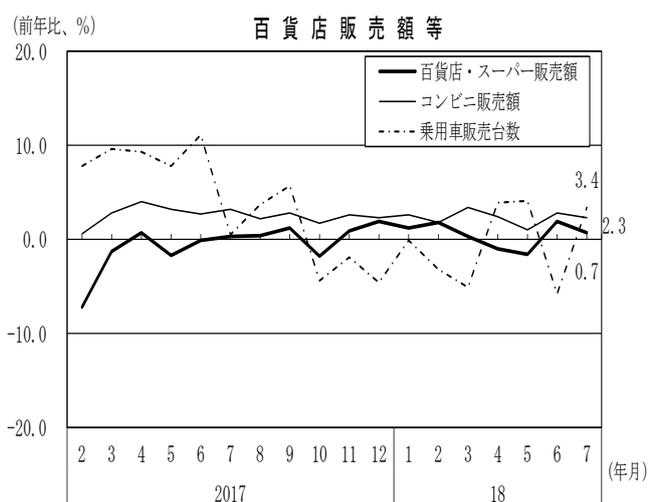
基調判断
(2018年7月を中心として)



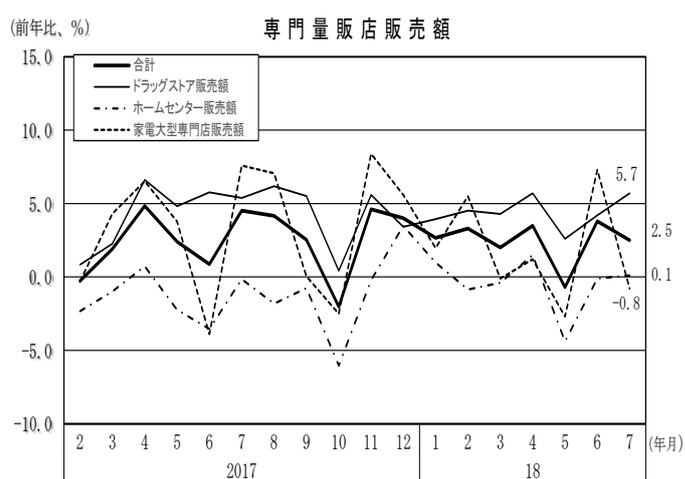
今月の概要

県内景気は緩やかに回復している。

1 個人消費 持ち直し



(資料)経済産業省、埼玉県自動車販売店協会など

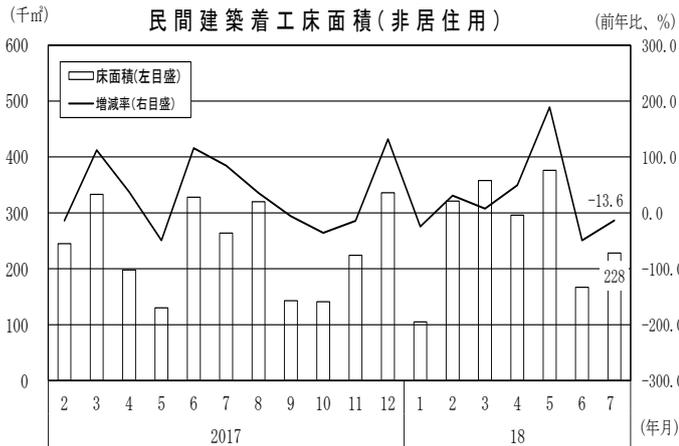


(資料)経済産業省

7月の百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は、882億円で前年比0.7%増加した。百貨店は同7.1%減と8か月連続減少したが、スーパーは同2.7%増加した。コンビニ販売は同2.3%増と堅調に推移している。乗用車販売(軽含む)は、同3.4%増加した。内訳をみると、小型車が同4.1%減と10か月連続減少したものの、普通車が同6.3%増、軽乗用車が同8.3%増加した。

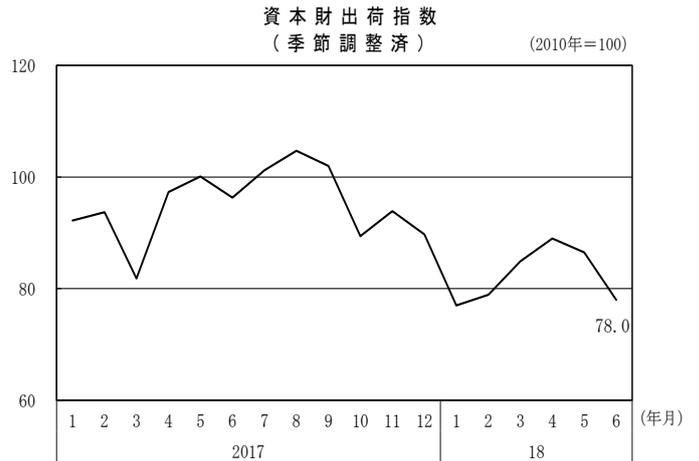
7月の専門量販店販売額は、717億円で同2.5%増加した。内訳をみると、家電大型専門店は196億円で同0.8%減と減少したが、ドラッグストアは343億円で同5.7%増と堅調を維持し、ホームセンターは178億円で同0.1%増と増加した。

2 設備投資 増加基調



(資料)国土交通省

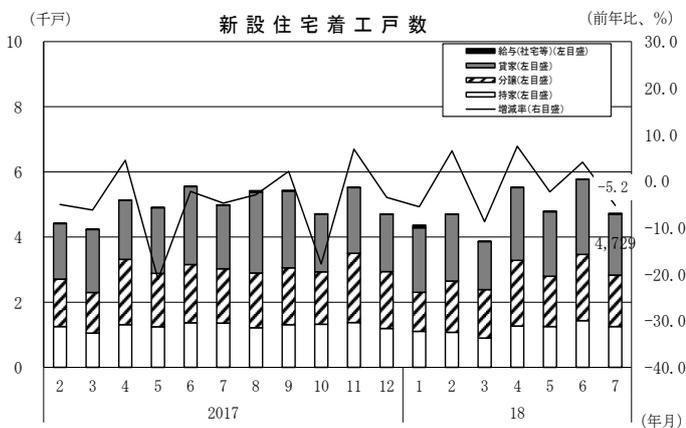
7月の民間建築着工床面積(非居住用)は、228千㎡で前年比13.6%減少した。7月までの年度累計では前年同期比16.0%増加。7月単月を用途別にみると、工場及び作業場、倉庫が増加したが、事務所、店舗などが減少した。



(資料)埼玉県

6月の資本財出荷指数(季節調整済)は、78.0で前月比9.8%低下した。

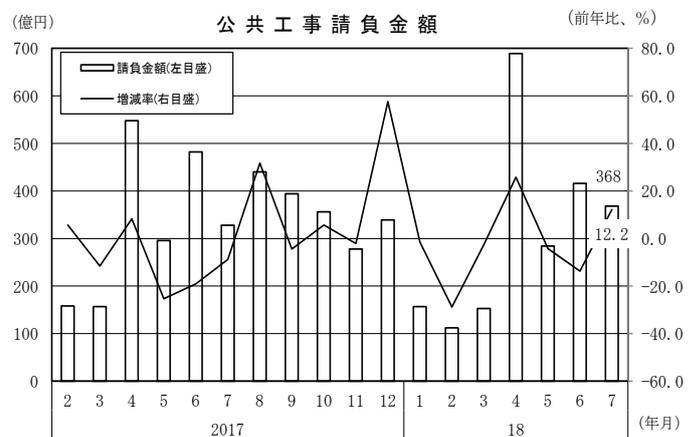
3 住宅建設 足元減少



(資料)国土交通省

7月の新設住宅着工戸数は、4,729戸で前年比5.2%減少した。利用関係別にみると、分譲マンションが253戸で同36.0%増加したものの、持家は1,250戸で同7.7%減、貸家は1,862戸で同4.5%減、分譲戸建ては1,320戸で同8.8%減と、ともに減少した。

4 公共工事 持ち直しの動き

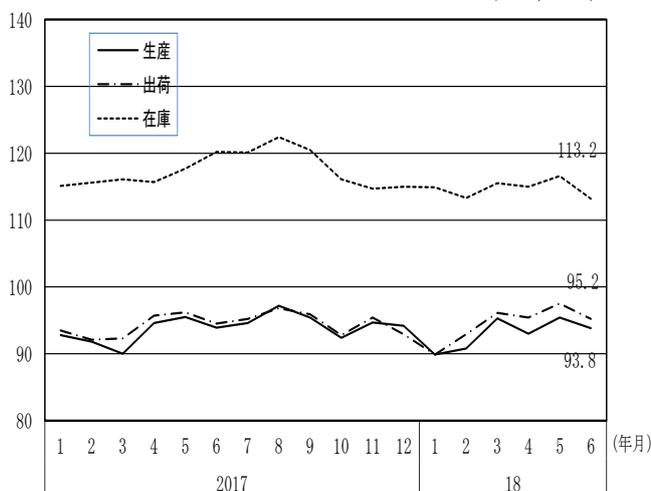


(資料)東日本建設業保証株式会社

7月の公共工事請負額は、368億円の前年比12.2%増加した。発注者別でみると、国、独立行政法人等、市町村が減少したものの、県が増加した。

5 生産活動 一進一退

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済) (2010年=100)



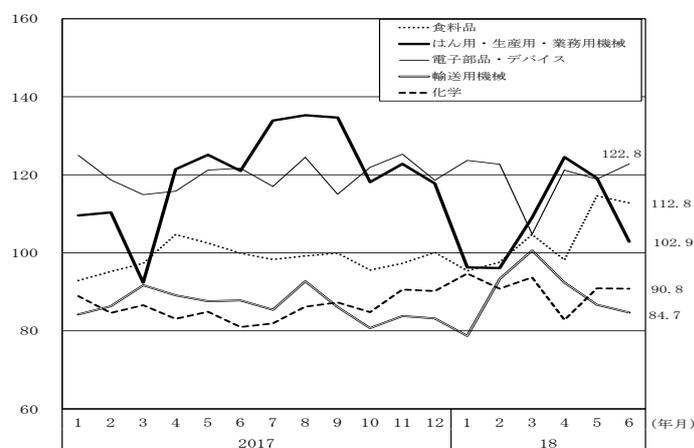
(資料)埼玉県

6月の生産指数(季節調整済)は、93.8で前月比1.7%低下した(2か月ぶりの低下)。情報通信機械(カーオーディオ)、業務用機械(精密測定機)などが上昇したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、輸送用機械(乗用車)などが低下した。

出荷指数(同)は、95.2で同2.4%低下した(2か月ぶりの低下)。業務用機械(精密測定機)、鉄鋼(棒鋼)などが上昇したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、情報通信機械(カーナビゲーション)、電気機械(電力変換装置)などが低下した。

在庫指数(同)は、113.2で同2.9%低下した(2か月ぶりの低下)。窯業・土石(セメント、ガラス製品)、電子部品・デバイス(半導体集積回路)などが上昇したが、輸送用機械(乗用車)、生産用機械(研削盤)、プラスチック製品(プラスチック製フィルム)などが低下した。

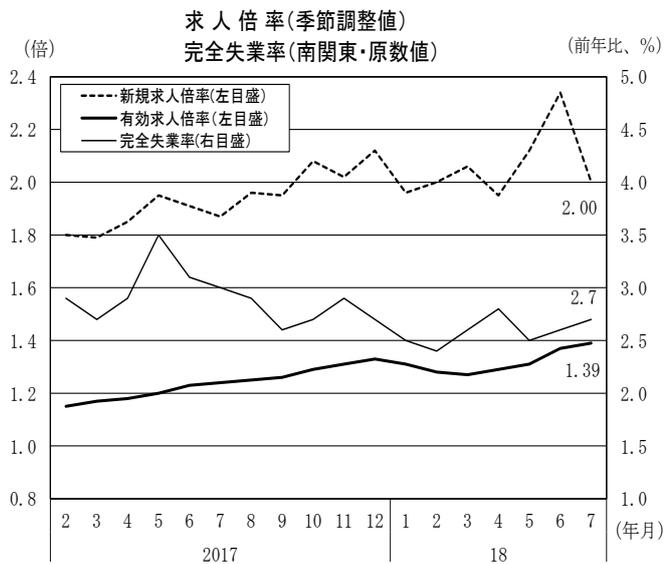
主要業種の生産指数(季節調整済) (2010年=100)



(資料)埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、112.8で前月比1.6%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ はん用・生産用・業務用機械(同)は、102.9で同13.7%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は122.8で同3.3%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 輸送用機械(同)は、84.7で同2.3%低下し、3か月連続の低下となった。
- ◆ 化学(同)は、90.8で同0.1%低下し、2か月ぶりの低下となった。

6 雇用情勢 着実に改善

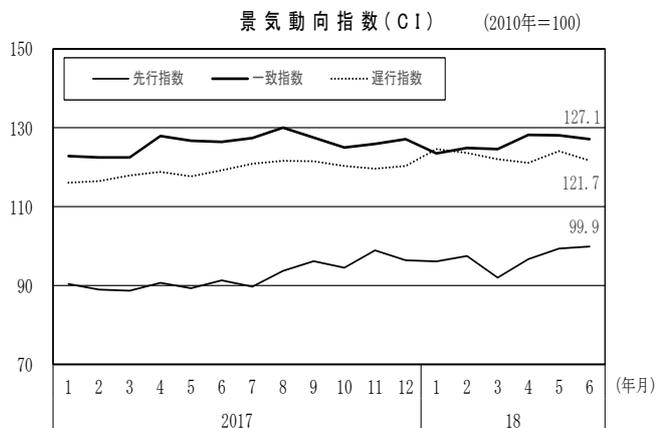


(資料)厚生労働省、総務省

7月の新規求人倍率(季節調整済)は2.00倍で前月比0.34ポイント低下したが、有効求人倍率(同)は1.39倍で同0.02ポイント上昇した。完全失業率(南関東、原数値)は、同0.1ポイント上昇の2.7%と横ばい圏内で推移している。

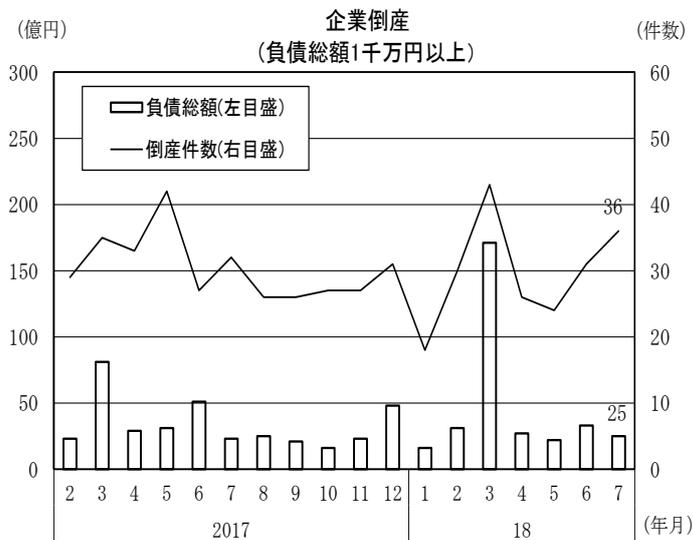
〈参考〉

景気動向指数(CI) 下げ止まりを示している



(資料)埼玉県

7 企業倒産 低水準



(資料)帝国データバンク

7月の企業倒産件数は、36件で前年比4件の増加、負債総額も25億円で同2億円の増加となった。

業種別にみると、小売業が10件で最も多く、次いで建設業が9件、卸売業が7件となっている。小売業が11か月ぶりに最多となった。主因別では、販売不振が31件で最も多くなっている。

6月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、127.1で前月比1.0ポイント低下し、2か月連続の低下となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、99.9で前月比0.5ポイント上昇し、3か月連続の上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、121.7で前月比2.4ポイント低下し、2か月ぶりの低下となった。